

ベトナム最大手不動産デベロッパー ビンホームズ社とのベトナム・ハイフォン市 最大のタウンシップ開発 「Royal Island (Vu Yen) プロジェクト」内の新街区に追加参画

2024年12月26日
大成建設株式会社

大成建設株式会社（社長：相川善郎）は、ベトナム最大手不動産デベロッパーであるビンホームズ社がインフラ開発を進めているベトナム・ハイフォン市最大のタウンシップ開発「Royal Island (Vu Yen (ヴーイェン)) プロジェクト」（以下「本タウンシップ」）の住宅開発エリアの一部の街区に、野村不動産株式会社および他日系パートナー企業と共に追加参画することが決定しました。

当社は本タウンシップ内の一部街区に2024年6月より事業参画しており（以下、「既参画街区」）、今回の参画により、本タウンシップ内合計約8,300戸のうち、約3,000戸の開発に参画することとなります。本件は日系参画各企業がこれまで培ってきた住宅開発事業の実績と、ビンホームズ社の強みである大規模開発のノウハウを活かしたタウンシップ開発となります。



【本タウンシップ「Royal Island (Vu Yen) プロジェクト」完成予想パース】



【当社参画街区】



【既参画街区に隣接する広場 (ロイヤルスクエア) 竣工写真】



【既参画街区の中央街区竣工写真】

1. 新参画街区・既参画街区の特色について

新参画街区は、既参画街区に隣接する2つの街区からなり、戸建住宅（ヴィラ）の他、2戸連棟住宅（セミデタッチドヴィラ）、連棟住宅（タウンハウス）合計で約1,450戸の開発を予定しています。

新参画街区は、街区敷地内に13カ所の公園、人工池等の自然環境を備え、さらに街区の中心地にはコンベンションセンターが開業予定であり、病院・学校・商業施設等にもアクセスの良い利便性に優れた住環境を提供いたします。

既参画街区では建設現場における品質向上を図る活動、および日本らしさを感じられる特徴的なデザインを取り入れることにより本タウンシップの価値向上に貢献をしました。

世界的に著名な建築家である隈研吾氏を起用し、従来のベトナムの住宅・街並みとは異なる新たな商品設計を実現しました。販売価格が約1~3億円/戸と高額でありながらも販売は順調で、2024年11月以降順次竣工し、引渡を開始しています。

新参画街区においても、当社並びに当社グループ会社が日本国内およびベトナムにおいて培ってきた技術力を活かすことでインフラ・建設工事における更なる品質向上を図り、本タウンシップの価値向上に貢献してまいります。



【既参画街区 竣工写真】



【既参画街区 引渡イベント写真】

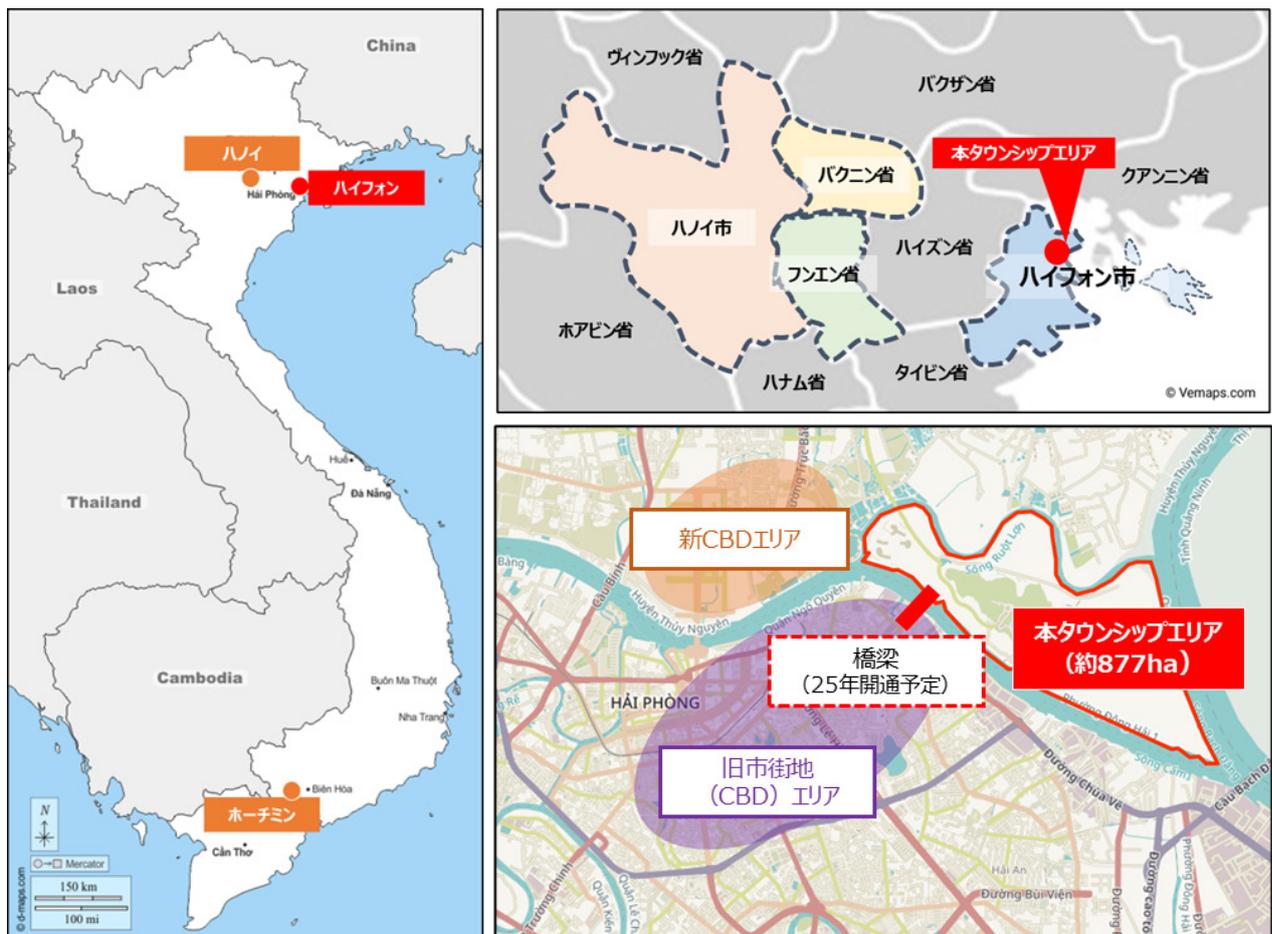
2. 本タウンシップ「Royal Island (Vu Yen) プロジェクト」について

本タウンシップの開発地であるハイフォン市は、ベトナム北東部の沿岸部に位置しており、ハノイ市、ホーチミン市に次ぐ第3位の人口を有する200万人都市です。2010年以降、主要インフラの整備が進んだことから、国内トップレベルの経済成長および人口流入が続いており、中央政府直轄5都市の一つとされています。

本タウンシップは、旧市街地（CBD 地区）と川を挟んだ対岸に位置し、二つの川に囲まれた Vu Yen 島という希少なロケーションであり、旧市街地エリア、新CBD地区双方へのアクセスに優れています。また、総面積約877ha、総戸数約8,300戸のハイフォンエリア最大の都市近接・複合タウンシップ開発です。ヴィラ・セミデタッチドヴィラ・タウンハウスを組合せた住宅が計画され、大型ショッピングモール、学校、大型商業施設、アミューズメントパーク等、居住者の生活利便性を向上させる複数の施設整備が予定されています。

さらに、現在、CBD地区とVu Yen島を結ぶ橋梁の整備が進められており、本タウンシップの住民の利便性向上およびハイフォン市の都市機能の増進にも寄与するプロジェクトとなります。

また、島全体に巡らせている人工池に関しては循環システムを整備し水質浄化を行う等、サステナビリティに配慮した計画としています。



【地図・概要】

お問い合わせ先：大成建設株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報室

TEL.03-5381-5011（ダイヤルイン）

＜新参画街区の概要＞

所在地	ベトナム ハイフォン市
用途	住宅等
総戸数 (住宅販売用途土地面積)	約 1,450 戸 (約 26ha)
着工	2025 年 2 月 予定

※上記情報は計画段階のものであり、今後変更となる場合があります。

■ (参考) Vingroup (ビングループ)・Vinhomes (ビンホームズ) について

ビングループは、ベトナム最大のコングロマリット企業であり、不動産を中心に病院経営、教育事業等事業分野は多岐にわたります。また、近年は新たに自動車事業に参画する等新たな分野にも積極的に展開しています。

ビンホームズ社はビングループ傘下の中核企業であり、同国最大の不動産会社として主に住宅分譲事業、賃貸管理事業、住宅賃貸事業を手掛けており、タウンシップ開発について豊富な実績を有しています。

＜当社のベトナムでの事業展開について＞

1993 年、他日系ゼネコンに先駆け現地法人「ビナタインターナショナル」を設立し、これまでに数多くの建設工事に携わってきました。

不動産開発の分野においては 2018 年に開業したサービスアパートメントの開発実績を始めとし、本プロジェクトの参画済み街区に加えその他大規模住宅分譲事業にも参画しています。

2024 年には、大成建設グループが投資、設計、施工、運営において一丸となって取り組んできたオフィス開発事業が完成し、「TAISEI SQUARE HANOI」として開業しました。当社は今後もベトナムを注力国ととらえ、更に事業拡大を目指していきます。

【既参画街区リリース】

https://www.aisei.co.jp/about_us/wn/assets/cms/pdf/20240625.pdf

【TAISEI SQUARE HANOI ホームページ】

<https://taiseisquarehanoi.com/>